

1. XProtect Essential+ インストール手順
2. XProtect Essential+ アンインストール手順
3. XProtect アップグレード（ライセンス切り替え）手順
4. 推奨動作環境、注意事項
5. よくあるトラブルの対応方法

2018 年 7 月
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

1. Milestone XProtect Essential+ インストール手順

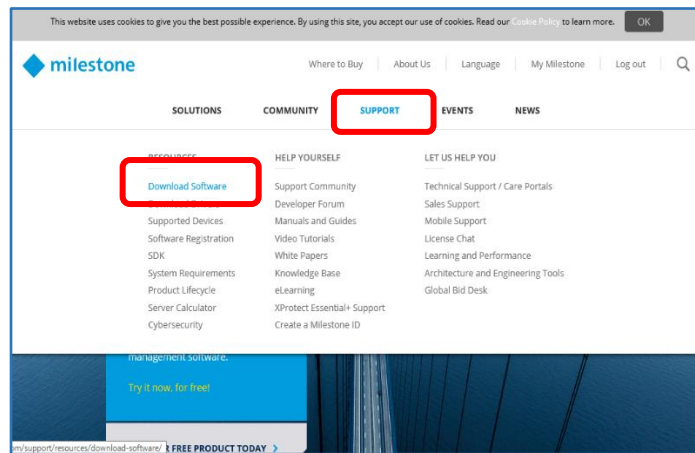
* インストールが完了するまで、必ずインターネット接続された状態で進めてください。

また、プロキシやファイアウォールによっては、ライセンス認証がうまくいかない場合があります。

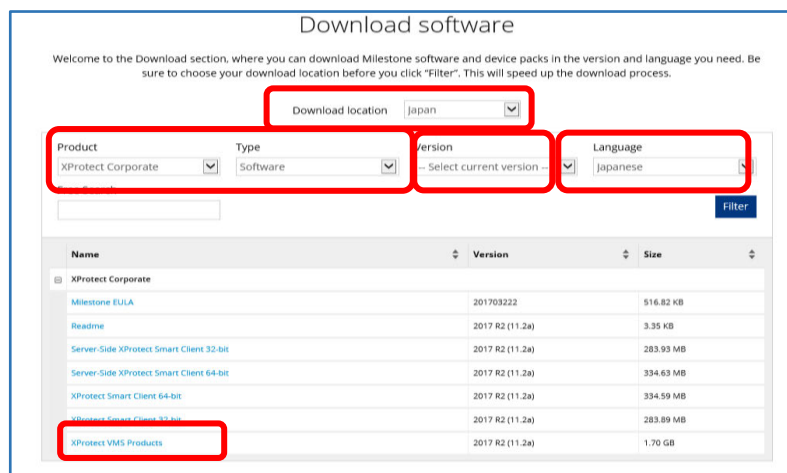
*インストールする PC には、.NET3.5 SP1 および.NET4.7(以上) Framework がインストールされている必要があります。

*以前に XProtect をインストールした PC にインストールする場合には、まず、「Milestone XProtect Essential+ アンインストール手順」を参照の上、XProtect のクリーンアップ処理を行ってください。

- 1) <https://www.milestonesys.com/>にアクセスし、「Support」→「Download Software」に進む。

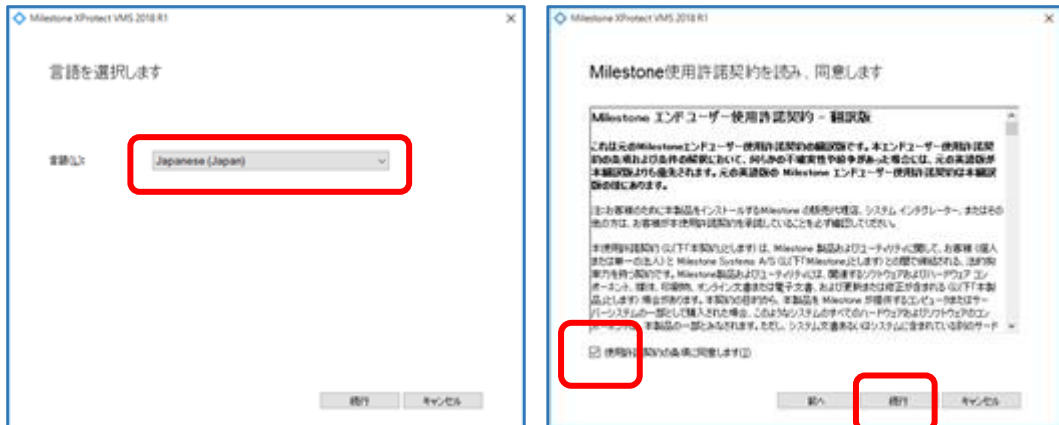


- 2) 「Download Location : Japan」に変更し、
「Product : 使用するエディション」 「Type : Software」 「Language : Japanese」
「Version : 最新バージョン」を選択しフィルタをかける。
検索結果から「XProtect VMS Products」を選択し、デスクトップ等に保存する。(数分かかります)

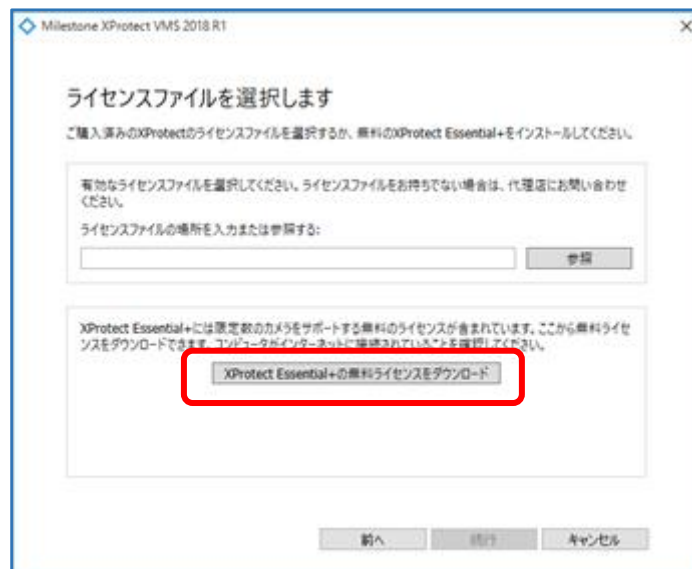


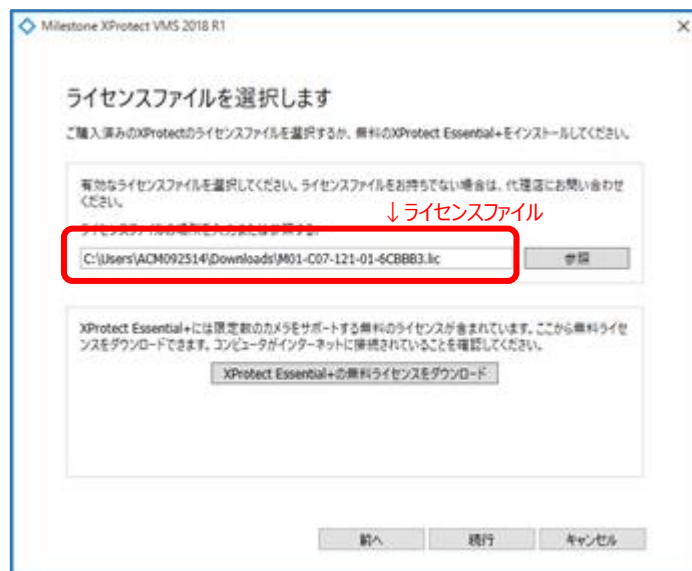
3) ダウンロードした exe ファイルを実行する (アンパックに数分かかります)

4) 言語「Japanese」を選択し、使用許諾に同意し、続行をクリック



5) 「無料ライセンスをダウンロード」をクリックし、ライセンスファイルが入力されたことを確認する

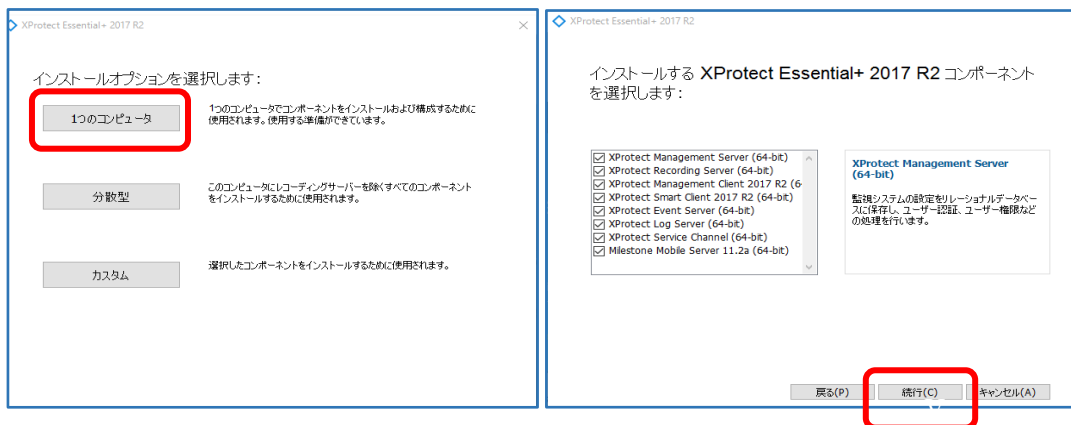




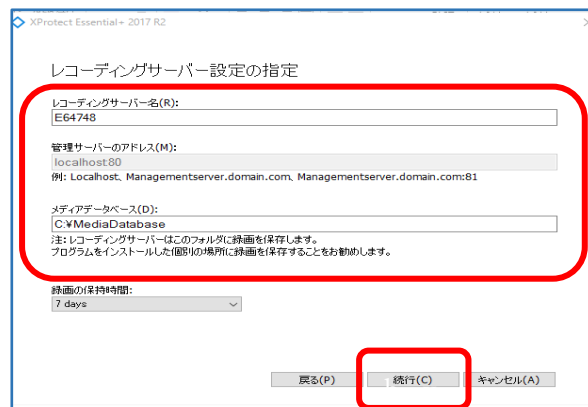
6) インストールオプションを選択する。通常は「一つのコンピュータ」を選択。

* レコーディングサーバを別にインストールしたい場合は「分散型」、サーバーサービスのインストール先を 2 台以上のサーバに分けたい場合は「カスタム」を選択しますが通常はあまり選択されません。ここでは「一つのコンピュータ」のみを説明します。

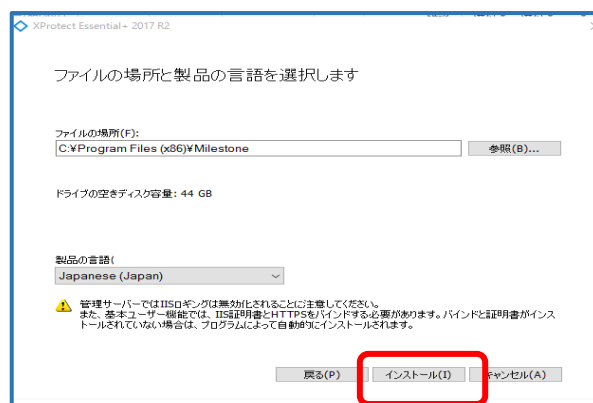
1 つのコンピュータを選択し、全コンポーネントにチェックが入った状態で続行



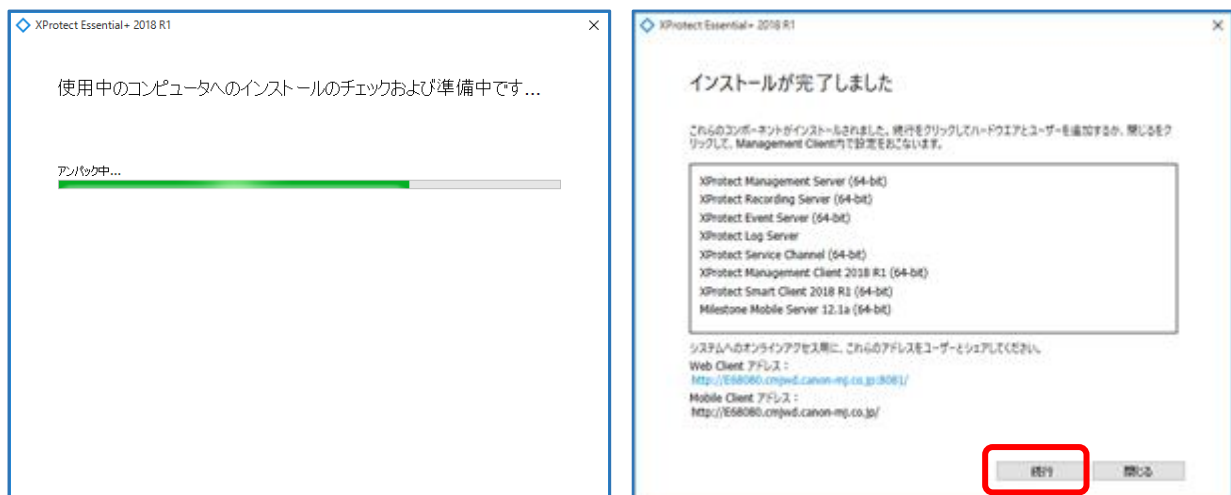
7) レコーディングサーバ設定情報が自動的に入力されたのを確認し「続行」



8) インストールするファイルの場所と選択されている言語を確認し、OK であれば「インストール」を実施する



9) インストールが進み、インストール完了したら続行ボタンでカメラとの自動接続ウィザードに進む



10) 接続予定のカメラのユーザー名とパスワードを入力し「続行」

* カメラのユーザー名/パスワードは後から設定することも可能ですので空欄のまま進めても構いません

ハードウェアのユーザー名とパスワードを入力してください

メーカーがファームウェアで設定したハードウェアのユーザー名とパスワードを変更した場合、ここに値を追加してください。
ハードウェアのスキミング、システムがメーカーによるファームウェアの更新情報とお客のパスワードをカスタマイズした更新情報を探します。

ヒント: セキュリティ上、ハードウェアの更新情報は製造元のファームウェア設定から必ず変更してください。

ユーザー名	パスワード

続行 キャンセル

11) XProtect にログインするユーザーの設定・作成を行い「続行」

* ログインユーザーは後から設定することも可能ですので変更せずに進めても構いません

* また、インストールしている PC の Administrators グループはデフォルトでユーザー登録されますので、管理者権限ユーザーは XProtect へのログイン可能です。

ユーザーの追加

システムへアクセスする異なるタイプのユーザー、Windows ユーザーまたは基本ユーザーを追加できます。基本ユーザーはユーザー名とパスワードが必要です。これらのユーザーにはオペレータの役割または管理者の役割を割り当てる必要があります。

ユーザータイプ	ユーザー名	パスワード	パスワードの確認	役割
Windows ユーザー				Administrators

追加

続行 キャンセル

1 2) インストール作業が完了します。「閉じる」で終了します。



1 3) XProtect Smart Client が立上がります。ログインするとインストール時に接続したカメラでレイアウトが作成されていますので、必要に応じて変更してください。

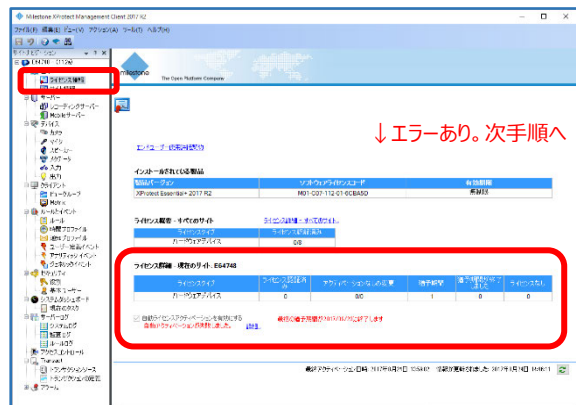
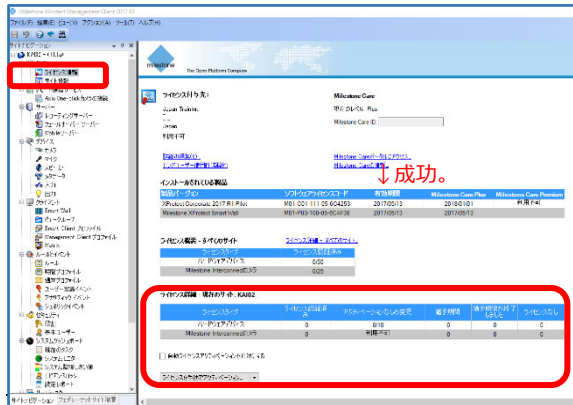
1 4) インストール完了後、デスクトップに作成された「Milestone Management Client」アイコンを起動させ、コンピュータ：「localhost」、認証：「Windows 認証(現行ユーザー)」で「接続」する



15) カメラ接続作業後、「ライセンス情報」をクリックし、自動アクティベーション状況を確認する
 <成功> <失敗>

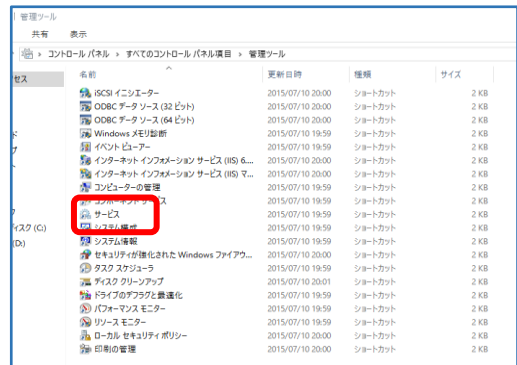
エラーが出ていなければ、ここでインストール完了。

エラー表示が出ていた場合、次の手順へ。



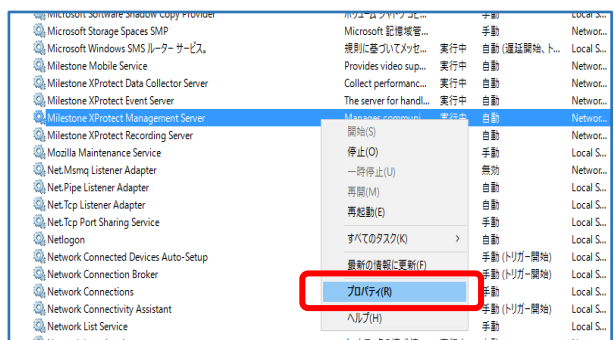
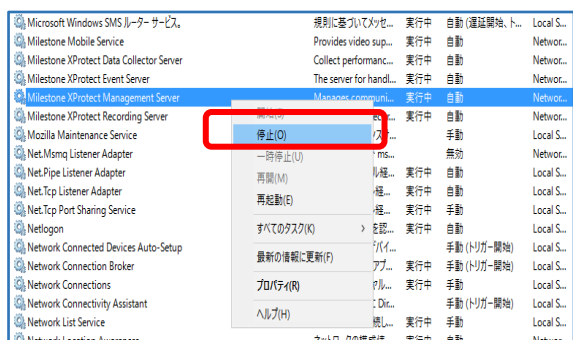
*プロキシ経由でインターネット接続していると、オンラインアクティベーションのエラーが発生する場合があります。これは XProtect の設計によるもので “Management Server”のサービス起動ユーザーが"Network Service"となっていますが、この“Network Service”にはプロキシサーバーへのアクセス権が無いため、発生する現象です。サービスの設定を変更することで解消する必要があります。

1) 「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」を開く。

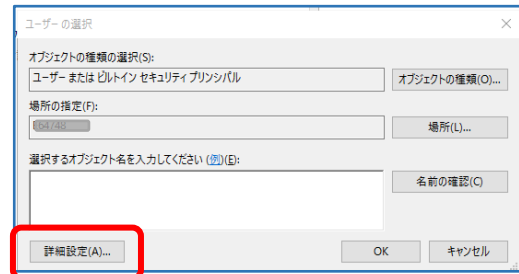
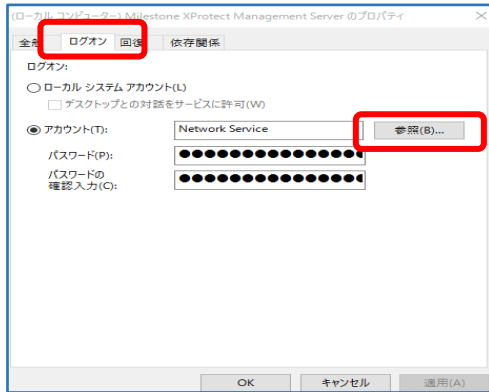


2) 「Milestone XProtect Management Server」を右クリックし、「停止」を選択。

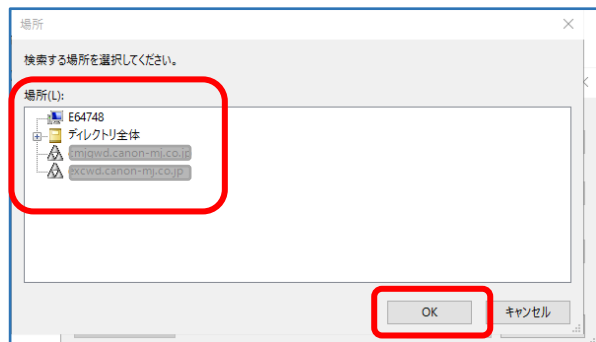
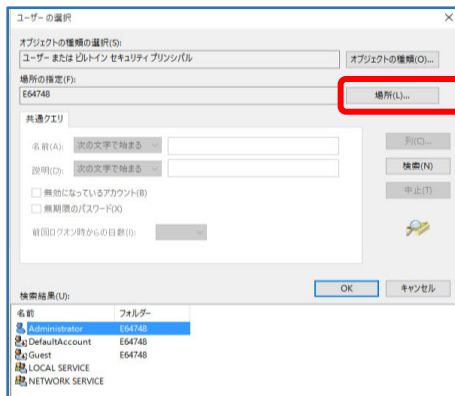
サーバ停止後、再度右クリックし「プロパティ」を開く



- 3) 「ログオン」タブに切り替え、「参照」をクリック。「ユーザー選択」ウィンドウが開いたら「詳細設定」をクリック

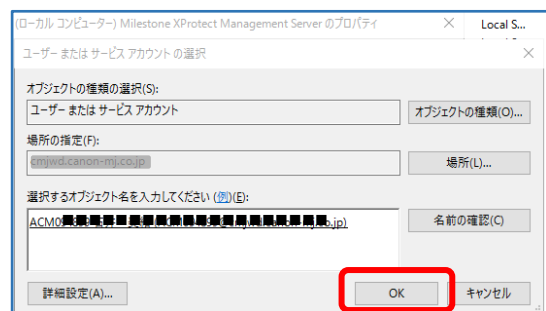
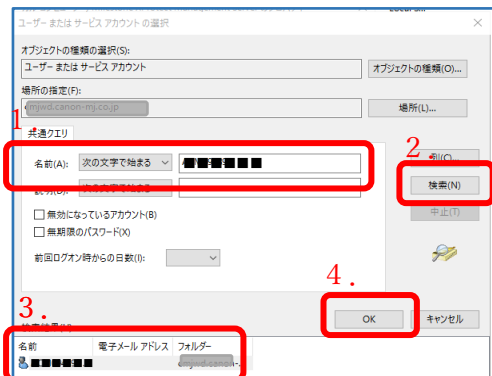


- 4) 「場所」を開き、ディレクトリの中から該当するワークグループを選択し、「OK」

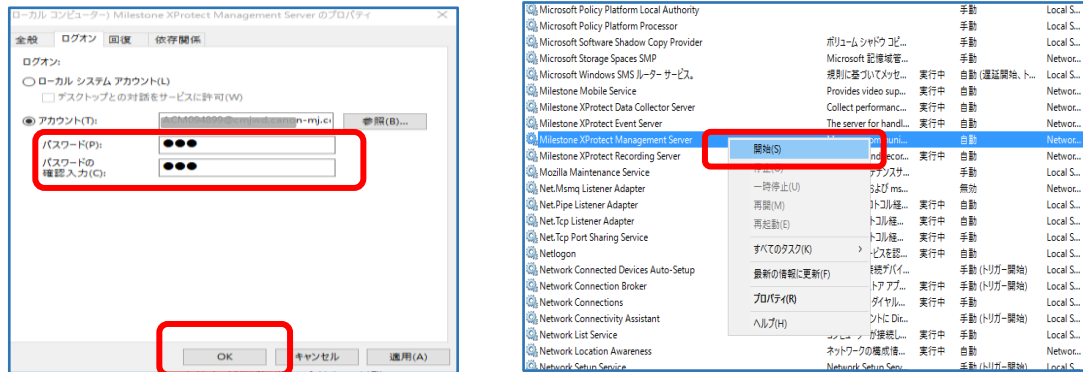


- 5) 「場所の指定」に前項で指定したワークグループが入力されていることを確認する。

「共通クエリ」の「名前」欄にログオンしているユーザー名を入力し、「検索」。検索結果が表示されたら選択し「OK」をクリックするとオブジェクト名が入力されるので、確認し「OK」



- 6) ログインユーザーのパスワードを入力し「OK」。その後、Management Server を右クリックし、「開始」させたらウィンドウを閉じる



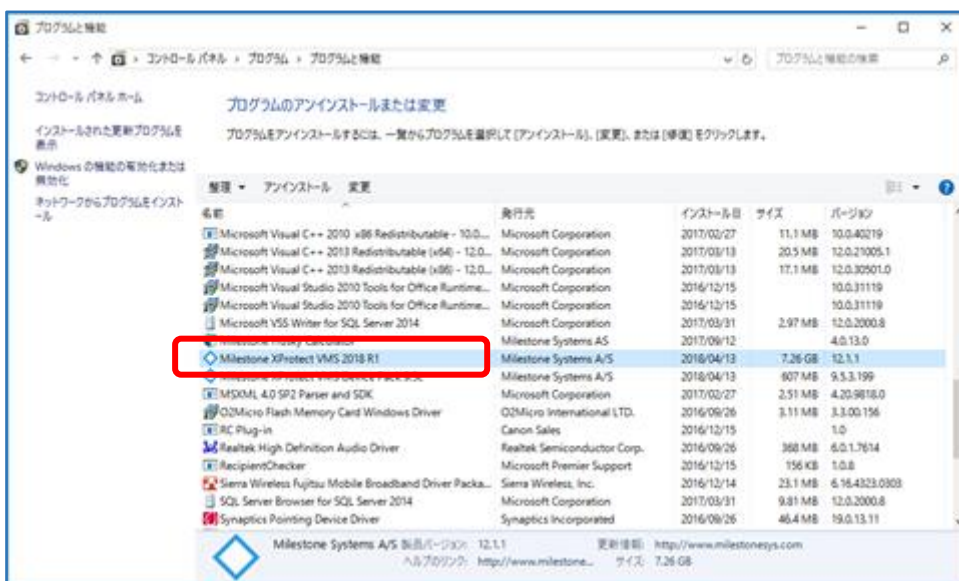
- 7) デスクトップ上の「Milestone Management Client」を起動させ「ライセンス情報」ページを開き、エラーが消えていることを確認する

- 8) カメラを登録し、アクティベーションが完了したら、XProtect Management Server のユーザーを「Network Service」に戻す。

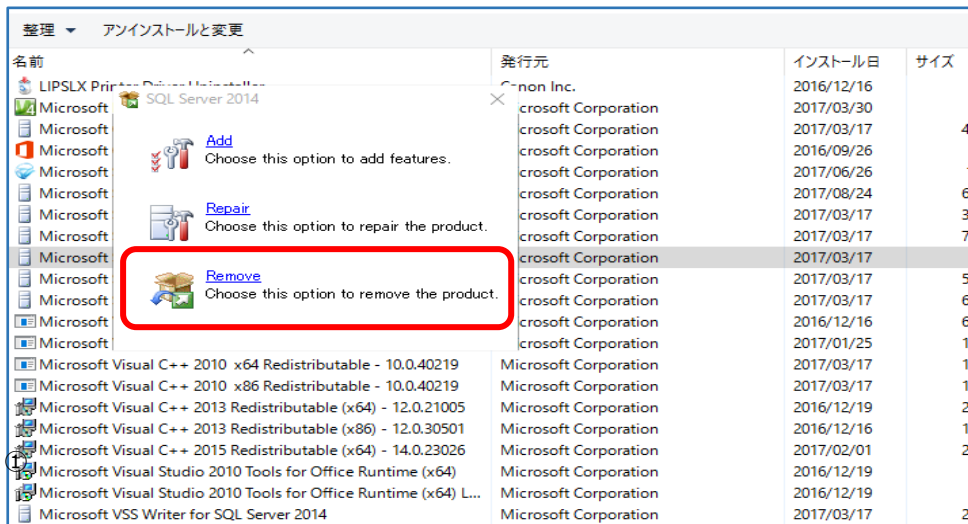
手順 1～2 を繰り返し、手順 3 にてアカウント「Network Service」パスワード「空欄」で再登録し、手順 6 で「開始」を選択

2. Milestone XProtect Essential+ アンインストール手順

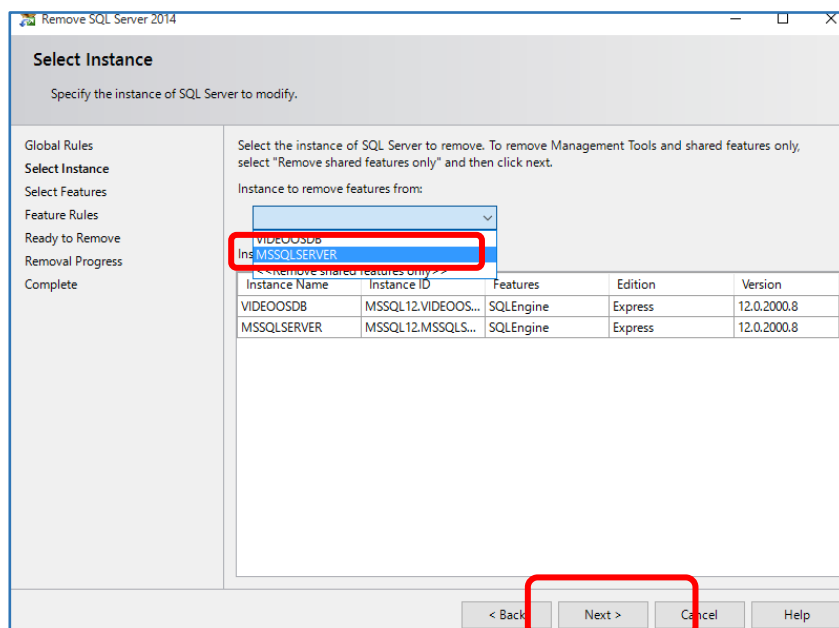
- 1) コントロールパネル⇒「プログラムと機能」から「Milestone XProtect VMS 2017 R2」を右クリックし、「アンインストール」を実施



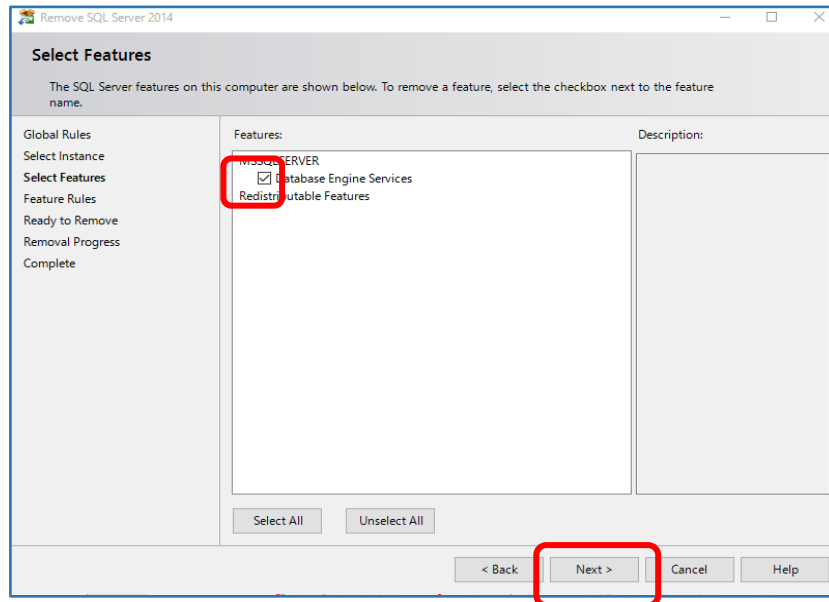
2) 「Microsoft SQL Server 2014(64-bit)」を右クリックし「アンインストール」を選択し「Remove」を選択。



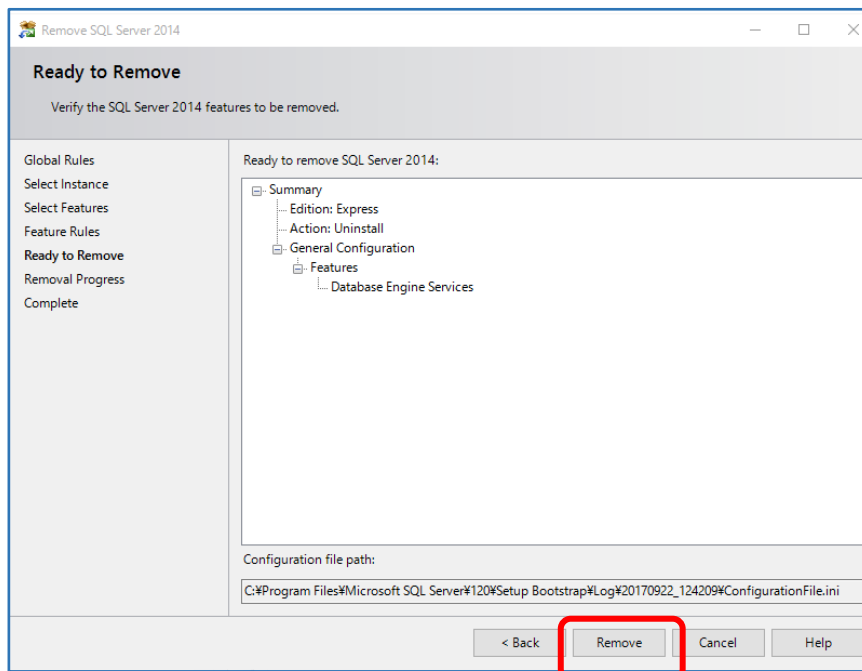
3) 「Instance to remove features from:」のプルダウンから「MSSQLSERVER」を選択し「Next」



4) 「Database Engine Services」にチェックをいれて「Next」



5) 「Remove」を押すとアンインストールが実行される



6) SQL サーバのアンインストールが終了したら、下記のフォルダを削除する。

- C:¥Program Files¥Milestone フォルダ
- C:¥Program Files (x86)¥Milestone フォルダ
- C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥VideoOS フォルダ
- C:¥ProgramData¥Milestone フォルダ
- C:¥ProgramData¥VideoDeviceDrivers フォルダ
(* C:¥ProgramData は隠しフォルダ)
- C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL12.MSSQLSERVER フォルダ
- C:¥MediaDatabase フォルダ
- C:¥Users¥"ユーザー名"¥AppData¥Local¥Milestone フォルダ
- C:¥Users¥ACM092514¥AppData¥Roaming¥Milestone フォルダ
(* C:¥Users¥"ユーザー名"¥AppData は隠しフォルダ)

7) レジストリエディター(regedit)を起動し、下記のキーを削除する。

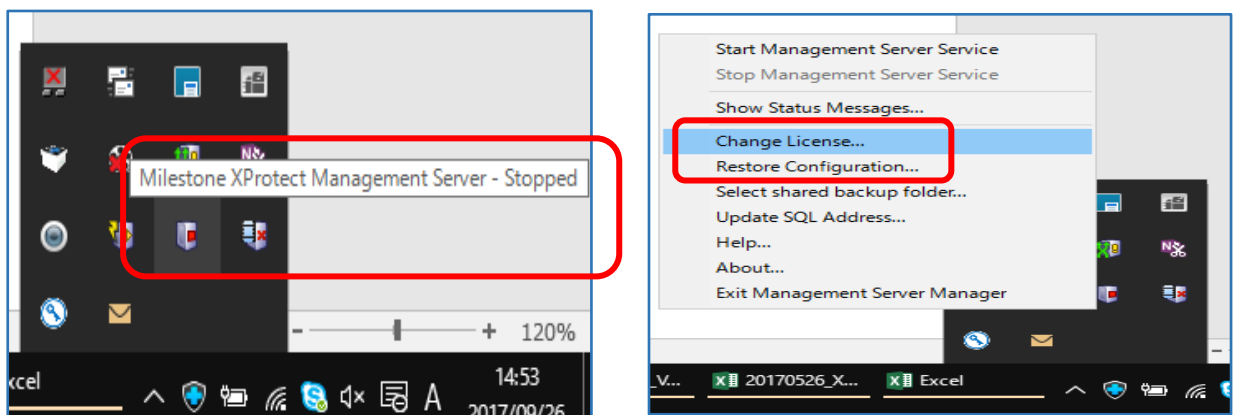
!! *レジストリの編集は誤ると Windows の動作不正に繋がるため、ご注意ください。!!

- HKEY_CURRENT_USER¥SOFTWARE¥Milestone
- HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Milestone
- HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥VideoOS
- HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥Milestone
- HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥VideoOS
- HKEY_USERS¥S-1-5-21-682003330-1592454029-2146828391-163574¥SOFTWARE¥Milestone

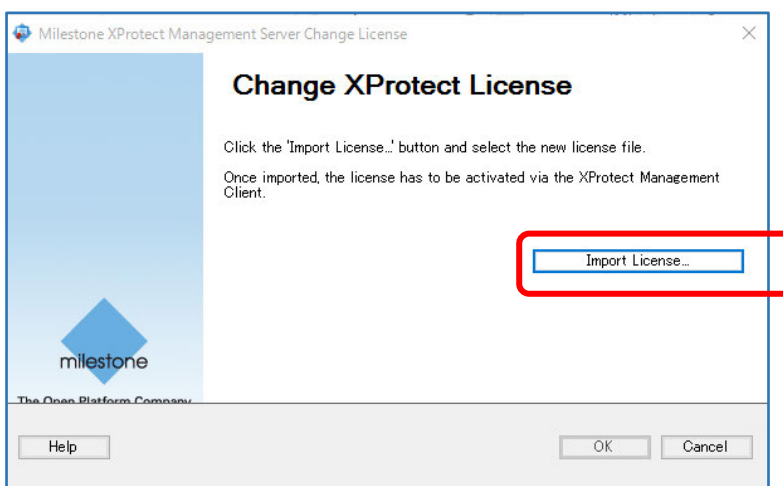
3. Milestone XProtect アップグレード手順

- Essential+から Express+, Professional+, Expert, Corporate へは本手順のライセンス切り替えのみでアップグレードが可能です。Express、Professional へアップグレードする際にはアンインストール⇒再インストールを実施ください。
- 本手順実施の前に新たに購入したライセンスをご用意ください。

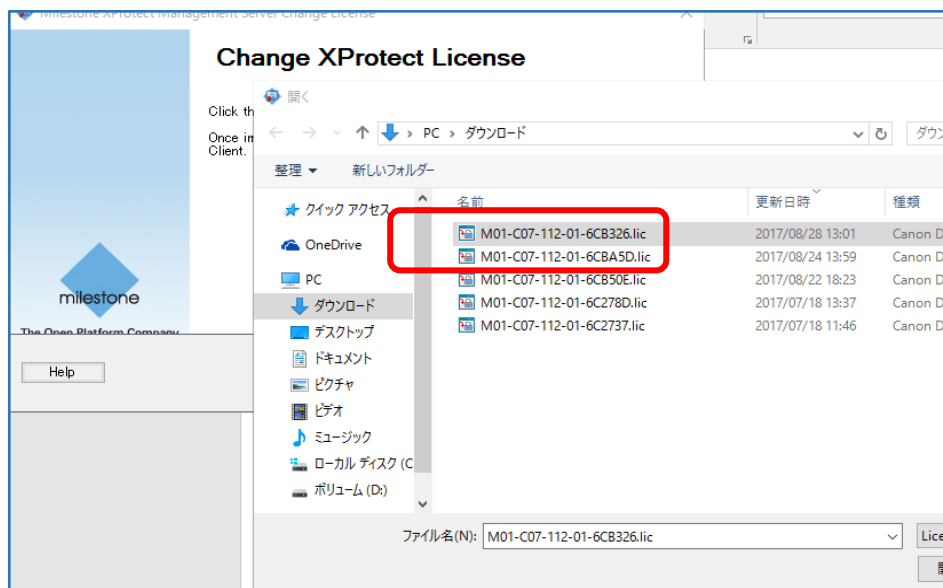
1) タスクバーから「XProtect Management Server」アイコンを探し出し、右クリックで「Change License」を選択



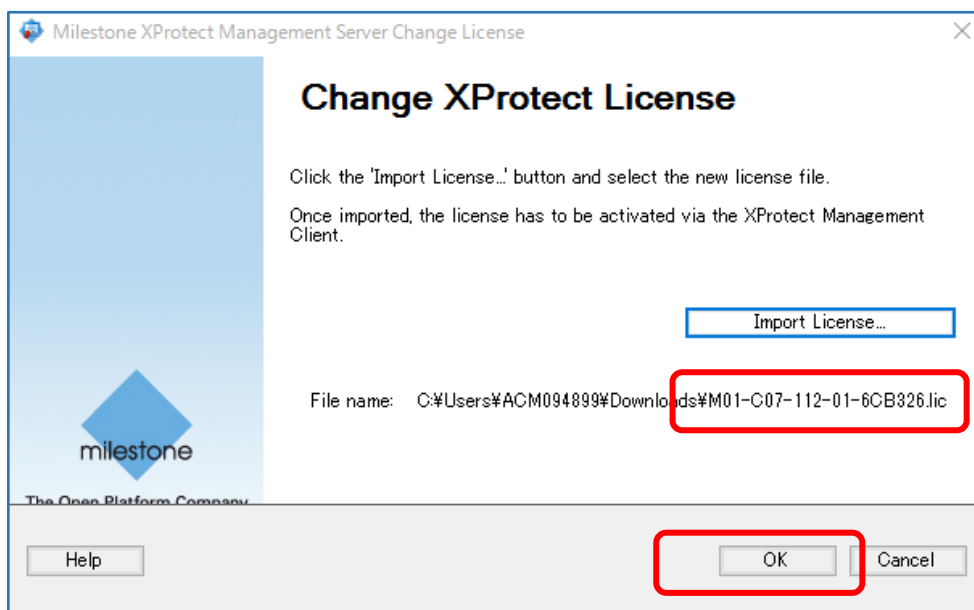
2) 「Import License」を選択



3) 購入済みの新ライセンス (lic ファイル) を指定する



4) 新しいライセンスファイルが選択されていることを確認し、「OK」



4. 推奨動作環境、注意事項

- 推奨動作環境

※前提条件：VB-H45×8 台、FPS:5、解像度:HD、同時表示台数:8 台の場合

CPU: Intel Xeon E5-2603 v4 またはそれ以上

メモリ:16GB またはそれ以上

NIC: 1Gbit

OS: Windows Server 2016×64 Standard/Datacenter

インターフェース:SAS/SATA

スピンドルスピード:7200RPM

-高い信頼性が求められるシステム(24 時間連続稼働、高頻度のディスクアクセスなど)の場合は SAS を強く推奨

-OS 領域と録画データ領域は別々の HDD にすることを推奨

-必要な容量はカメラの台数や録画の設定に依存

*以前に XProtect をインストールした PC にインストールする場合には、まず、本資料 P.9「Milestone XProtect Essential+ アンインストール手順」を参照の上、XProtect のクリーンアップ処理を行ってください。

*Essential+をインストールする端末は必ず専用端末として運用し、他のアプリケーションと併用をしないでください。

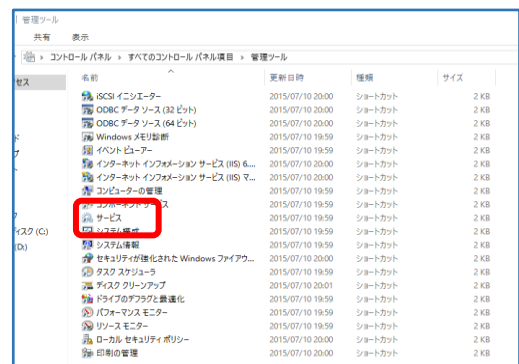
RM 等の他のアプリケーションを使用しており既にアンインストールをした場合でもクリーンアップを行うために、リカバリーを行うことを推奨します。

*Essential+は無償製品のため Milestone 社からのサポート対象外となっております。Milestone 社からのサポートを受けるためには有償版のソフトウェアをご購入ください。

5. よくあるトラブルの対応方法

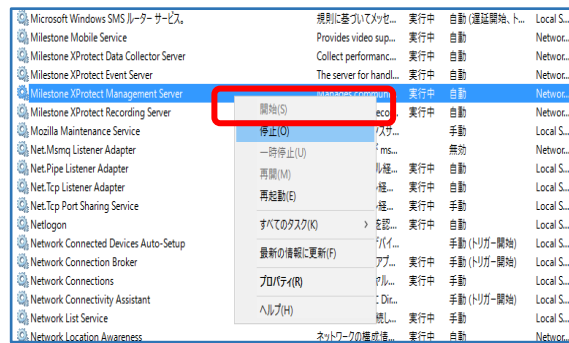
- Management Client/ Smart Client にログインできない。

1) 「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」を開く。



2) 以下のサービスの起動状態を確認し、全て開始する。

- SQL Server (MSSQLSERVER)
- Milestone XProtect Management Server
- Milestone XProtect Recording Server
- Milestone XProtect Event Server
- Milestone Mobile Service
- Milestone XProtect Data Collector Server
- Milestone RTSP Service



● インストールができない

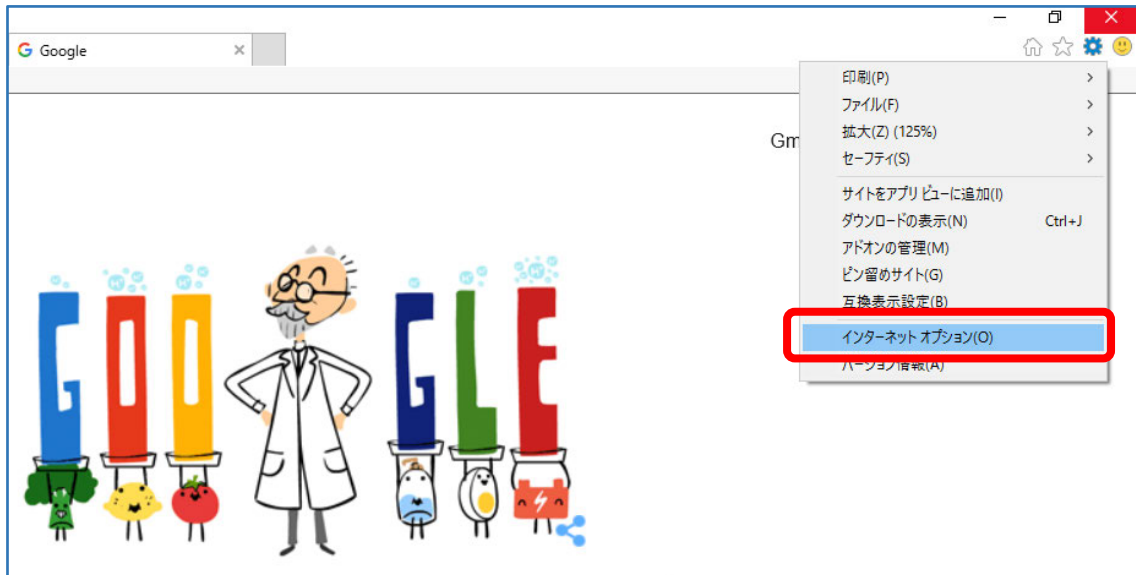
※本資料 P.2「Milestone XProtect Essential+ アンインストール手順」に記載がある通り、オンライン環境の準備及び.NET3.5 SP1 および.NET4.51(以上) Framework がインストールをご確認ください。

※以前に XProtect をインストールした PC にインストールする場合には、まず、本資料 P.9「Milestone XProtect Essential+ アンインストール手順」を参照の上、XProtect のクリーンアップ処理を行ってください。

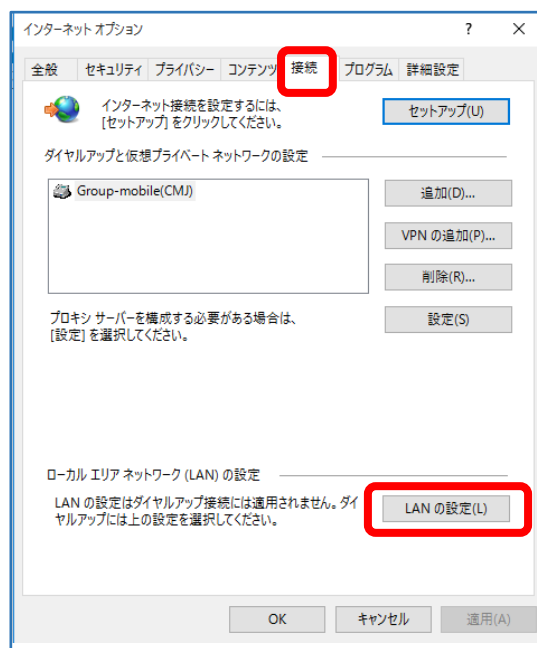
- Management Client でアラームの設定ができない/Management Client のカメラプレビュー映像が出ない。

※お使いの PC にプロキシ設定が施されている場合に解除いただく必要があります。

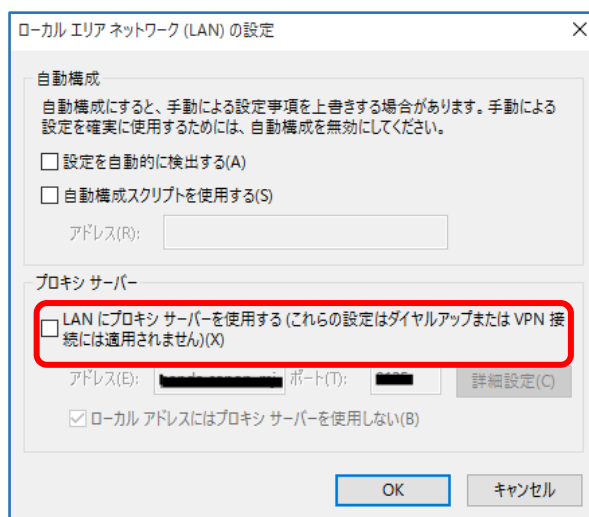
- 1) Internet Explorer を開きインターネットオプションを開きます。



- 2) 接続を選択し、LAN の設定を開きます。



3) プロキシサーバーのチェックボックスを外して「OK」をクリック



- オンラインアクティベーションが失敗する

※本資料 P.7「1.5）カメラ接続作業後、「ライセンス情報」をクリックし、自動アクティベーション状況を確認する」に記載がある通り、“Management Server”のサービス起動ユーザーの設定を変更することで解消する必要があります。

- XPortect で使用するポートのファイアウォール除外設定

※以下リンクの管理者マニュアル「システムのメンテナンス」項の「このシステムで使用するポート確認」の項目を確認し、指定されたポートの除外設定をお願いします。

管理者マニュアルは下記方法にてダウンロード可能

- 1) 下記リンクへアクセス

<https://www.milestonesys.com>

- 2) 画面上部の Support をクリック

- 3) Manuals and Guides の項目で Read now をクリック

- 4) Product のフィルターボックスで XProtect Essential+を選択

- 5) Language のフィルターボックスで Japanese を選択

- 6) Protect VMS Product – Administrator manual を選択しダウンロード